

健康と光線

慢性肝炎の診断と治療

慢性肝炎の診断と治療は、近年になって大きく変容しました。中でも慢性肝炎の原因としてベー

ルに閉ざされていた非A非B型肝炎が、1988年にC型肝炎として姿を現してから、慢性肝炎の95%はB型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスのようなウイルスの持続感染によって発病し、

わが国は諸外国と比べてC型肝炎の比率が高く患者の半数以上

を占め、その上、C型肝炎は罹患年数が30年以上になると肝硬変から肝細胞癌に進行する確率が高いことが明らかになりました。

そのためウイルスを除去する

抗ウイルス効果のあるインター

フェロンによる治療が根治療法として期待され広く用いられて

います。しかしC型肝炎のウイ

慢性肝炎の治療の基本

慢性肝炎は、ウイルスによる慢性肝炎の先行きに不安を抱く患者が多く、医療相談を受けることが増えました。が、それに伴いサナモア光線療法を治療に取り入れる方も増加しました。

慢性肝炎は、臨床的に他覚所見から活動型と非活動型に分類され、治療により相互に進行しますが、特に活動型の慢性肝炎の治療で薬物療法に先行して基本的に大事なことに安静と食事（高タンパク・高ビタミン食）があります。一般的に慢性肝炎が活動型と診断されると入院を勧められますが、イン

ターフェロン療法のような薬物療

法を行つたためだけでなく、臥床安静には肝障害のため低下した肝臓を循環する血流量を増して病状の改善を助ける効果があり、また食欲不振があれば補液（点滴）で栄養を補給する必要があるためです。なおタンパク質の摂取は肝細胞の再生に欠かせないので

慢性肝炎の治療の目的は、肝硬変、肝細胞癌への進展阻止にあります。既述したように未だ満足できる結果は得られておりません。そのためサナモア光線療法を治療に併用する方は増えてきましたが、免疫機構に作用して抗ウイルス効果を高めるためです。同様な効果は、サナモア光線療法を用いている人の中にも見受けられます。すなわち

慢性肝炎が活動型でなく非活動型でも安静は大事ですが、現実には社会生活を営まなければなりません。その際日々、サナモア光

慢性肝炎の治療

— 基本的に大事なこと —

サナモア光線協会

サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

抗ウイルス効果が期待できる免疫力の強化

線療法を治療に併用しますと、肝臓を流れる血液量の一層の増加を促し、物質代謝を高めて肝細胞の再生を促進しますので、あらゆるウイルスによる肝細胞の破壊を最小限に止め、一方で肝細胞の再生力を高める効果がありますので、慢性肝炎が活動型に移行するのを予防すると共に進展を抑制する効果が期待できるのです。

臨床的治癒を目標に

慢性肝炎の治療の目的は、肝炎ウイルスによる肝細胞の破壊（壊死）を最小限に止め、一方で肝細胞の再生力を高める効果がありますので、慢性肝炎が活動型に移行するのを予防すると共に進展を抑制する効果が期待します。言つまでもなく、過労を避け、良質のタンパク質を摂り、アルコール飲料の摂取は極力ひかえる等の養生も常に求められます。

肝機能検査で肝炎ウイルス量を反映するGOT、GPTが数ヶ月の治療後に下がったことを報告してくれる人は少なくありません。しかし、中には正常範囲になっ

た例もあります。このようにサナモア光線療法には抗ウイルス効果があり、肝機能検査の値を持続的に改善させ、臨床的治癒の状態に近づけることを目標に治療して頂いた結果、目標に適う症例が決して少くないことを述べました。なおこの際、最も肝要なことは、サナモア光線療法を使い続けることは言つまでもありません。

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

一病 息災

一病 息災

腰部脊柱管狭窄症

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

整形外科外来において、腰痛を主訴とする患者は極めて多く、厚生省の統計では、65歳以上の人口千人あたり、男性で168.3人、女性で224.8人が、腰痛を訴え、最も多い主訴とされています。腰痛の原因は多種多様ですが、高齢者の場合、特に、加齢とともに脊柱の退行性変化が強く影響します。退行性変化は、脊柱を構成する椎骨、椎間板、椎間関節、靭帯、脊柱筋などのいず

れにも生じ、腰椎疾患を複雑なものとすると、このことが、高齢者の腰痛の治療を困難なものとする一因になっています。腰部脊柱管狭窄症は、骨粗しやう症や脊椎すべり症など、いずれの疾患が根本にあつたとしても、最終的に到達する腰椎疾

立、歩行により下肢に疼痛、脱力、しびれをきたし、起立、歩行の継続が困難となり、数分間休憩した後に軽快するという症状です。もし、50m程度の歩行でこの症状が出現するなら、重症と考えられますが、腰痛に加えて、間欠性跛行や下肢のしびれなどを認めた場合には、下肢に分布する馬尾神経に病変がおもんでいることを示唆します。

腰痛や随伴する症状を、年だからしようがないと思い込んでいる方も多いことと思います。

病気を根本から治す治療法と言えるのです。

ですが、サナモア光線療法の深部温熱・鎮痛作用により、早ければ数回の治療で、確実に痛みが和ります。ただし、神経根部の圧迫が強く、下肢の神経症状が長期間にわたる場合は、最低でも3ヶ月の治療が必要となります。治療により痛みが軽減したなら、腹筋、背筋や下肢筋の廃用性萎縮を予防するため、適度な運動を心がけてください。また、光線療法において特筆すべきは、他の物理療法と異なり、ビタミンDを介して骨を丈夫にする作用がある点で、

症例：67歳、女性

主訴：腰痛。右大腿背側の痛みとしびれ。間欠性跛行。

起始・経過：2年前から、腰痛および右大腿背側の痛みとしびれを自覚。症状は徐々に増強し、歩行時には杖が必要で、間欠性跛行（休み休みでないと歩けない状態）となった。このため1年前から、近医ペインクリニック科にて、週に1回、腰部に神経ブロックを行ってきたが、鎮痛効果が持続しないため、知人の紹介で来院した。

治療：左側臥位にて50分、5灯照射を施行。腰部(BD)、大腿背側部(BD)、足裏(AB)を照射すると同時に、膝関節(AB)を2灯で前面から照射。

経過：週に3回のペースで治療を開始。10回終了後より、徐々に痛みが軽くなり、25回終了時には、自宅から治療院まで、徒歩で約20分の距離を、休まずに通えるようになった。この頃には、神経ブロックを行わなくとも、日常生活に支障を感じることはなく、40回終了時点で、痛みもほとんど消失した。現在、時々、来院するが、良好に経過している。

病気と光線療法

疾患の重症度により異なります。光線療法を試してみて下さい。

サナモア光線治療院
開院から一周年
昨年九月一日に開院した治療院も、無事、一周年を迎えることができました。この間、多く

サナモア便り

vol.7

宇都宮 正範

- 11月16日(金) 午前11時～午後5時
- 11月17日(土) 午前10時～午後5時
- 11月30日(金) 午前11時～午後5時
- 12月1日(土) 午前10時～午後5時

第五期 サナモア光線治療師 養成講座開講のご案内

第五期サナモア光線治療師養成講座を、秋に東京にて開講します。本年最後の開講となりますので、ご希望の方は、お早めにご連絡下さい。

のサナモアご愛用の方にお越し頂き、ご支援頂きましたことは、スタッフ一同、大変感謝致しております。これからもサナモア光線療法の啓蒙、普及に、一層、尽力する所存でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

院長 一言
院長 山崎いく子先生
亡き母の代から先代宇都富義真先生に師事し、現在は、宇都富光明先生と正範先生のご指導、ご後援を頂き、ご愛用の方の暖かいご支援のもと、光線治療および治療器とカーボンの販売を正業と

電話 ○九二一五八一一五七三
住所 福岡県春日市 桜ヶ丘八一三

育美健康光線療研 (写真)
治療院紹介

日時 十月二十日(土) 午後二時
場所 サナモア光線治療院
三階会議室

医療に関連した話題の講演や治験例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のサナモアご愛用の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

第七回「光と熱研究会」のお知らせ



山崎いく子先生御夫妻

して、約半世紀にわたり、光線療法の普及に努めております。現在は、特に医師から治癒困難と診断

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものはありません。については体験記をお送りくださいますよう、お願ひいたします。

された患者さんの光線治療と在宅光線治療を続ける患者さんの心身のケアおよび治療器のメインナンスを致しております。治療は予約制で、電話でのご相談は、常時受けております。

募集

サナモア光線治療師

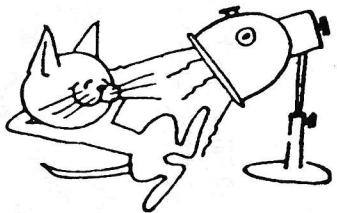
当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
TEL (03) 5759-3710
FAX (03) 5759-3720

て、緑内障の疑いがあることを指摘された。近医眼科にて精査したところ、眼圧は高く（30mmHg）、視野狭窄が認められるため、慢性緑内障と診断され、点眼薬と内服薬を処方された。弟に相談し、サナモア光線療法を勧められたため来所した。

☆ 緑内障



— 治 驗 例 報 告 —

腹、背、腰、膝、足裏に各10分照射した。在宅光線治療は、眼部と後頭部を中心に、できれば、朝晩、二回照射するように指示。

症例 74歳 女性 主婦
症状 身体に搔痒感を認めたため、近医を受診したところ、痒みに対する薬を処方された。内服開始後から、徐々に、身体に熱感を認め、全身に痒みを伴う発疹が出現し、手掌や足底の皮膚が一部剥離した。
その後、他の部位の皮膚にも同様の症状が出現してきたため、知人の紹介にて来所した。

程、三回のカスミが改善し、三週間後には、眼圧は低下し、視野狭窄の進行はみられないと言われた。さらに、四か月後には、眼圧は正常に近い値まで低下し、視野も医師の見込み以上に改善していると言われた。この頃には、不快に感じられていた目のかすみもほぼ軽快、物を見る苦痛から開放された。今後も光線治療を続けると言つて、仕事に

☆藥疹

主婦 洋感を認めた
診したところ、
を処方された。
徐々に、身
全身に痒み現
現し、手掌や
部剥離した。
位の皮膚にも
現してきたた
にして来所した。

症状 53歳 男性
約三か月前から、頭が痒く、フケが多くなったことに気づき、その後、頭、頬、股関節、性乾癬など全身に赤くもりあがった発疹ができ、強い痒みのため不眠となつた。病院にて、尋常性乾癬と診断され、塗布薬を用したが効果がないため来所した。

来所時は、微熱があり、全身に発疹を認め、手掌や足底、上腕や膝の一部の表皮が剥離し、不眠と食欲低下を訴えていた。

その後、左顔面、右胸、左腰、右膝側面、左足関節に15分同時に照射した。治療は連日行つたが、二日目から、発疹が軽減し、三日目より食欲も回復、十分睡眠できるようになつた。表皮の剥離した部分も改善してきたので、七日間で当院での治療は終了し、今後は在宅治療を続けるように指導した。

福岡県春日市
TEL 〇九二八
五七二一五七三
山崎いく子氏報告
育美健康光線療研

ABカーボンにて、足裏、膝、腹、腰を各部20分照射するよう指示。一週間後、電話連絡にて、
顔面の表皮がむけてみつともないとの連絡を受けたので、辛抱強く続けるよう指示。また当院において、多灯照射も並行して施行したが、二回終了時に、乾癬部の赤みは消失し、痒みも頭部以外ほとんどなくなり、三回終了時には、顔面はとてもきれいになり、他の病変もほぼ軽快した。今後も、再発防止のため、光線治療を続けるよう指示した。

☆尋常性乾癬

TEL 神戸市ウエノ光線療研
上野 健太郎氏報告
〇七八一三三二一三五八

サナモアカーボンの 類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセッ特したり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサンマヨと同じと見せ掛け販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので、ご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありまし
たらお問い合わせ下さい

(株)東京光線療法研究所

はじめに

転んだり、ぶつけたりしてで
きた傷口にサナモアを照射して、

サナモア光線療法のすすめ —手術と言われたら—

サナモア光線治療院院長 医学博士 宇都宮 正節

傷の痛みは
和らぎ、き
れいに治癒します。この事実は、
多くの愛用者が実際に体験され、
ご存知のことだと思いますが、案
外、手術前後でサナモアを使用

ることと思
います。実
際、サンモ
アを皮膚の
創傷部に照
射すると、
局所の感染
を予防する
とともに、
血液循環を
改善し、消
炎・鎮痛効
果を發揮し、
組織の再生
を促すため、

驚くほど早
く傷口が

すごい回復力に感嘆

横浜市 高田様

すると、術後の体力回復や手術創の縫合不全を予防する効果があることを、ご存知ない方がいらっしゃるよう思います。

手術前から始めよう

C型肝炎と診断されて7年程になります。昨年12月の検査結果で、肝臓に腫瘍ができているらしい事が分かった際、実父にサナモア光線を薦められて、半信半疑で治療器を購入しました。また、ただ入院の順番を待っているのが辛く、サナモア光線治療院を訪れました。全身に照射してもらうと、とても心地よくスーっと身体が軽くなるような気がするのと同時に、身体の奥に光線が入り込んで行くような感じがします。リラクゼーションが、近頃流行っていますが、私には、最高のリラクゼーションに思われます。光線治療院は、入院するまでの間、週に2回、入院中も外泊許可がおりると、一目散に光線治療院へ行きました。宇都宮先生は、光線を照射していると、手術した後の縫合状態がとても良好になるはずだとおっしゃっていました。本当にその通りで、手術後、傷の消毒に5人程の医師達が交代で回診に来ましたが、すごい回復ぶりだとそれぞれ感嘆の声をあげていました。「術後1週間！うそだあっ！すごいね！」と。また、看護婦さん達も「こんな患者さん見たことない。特別に何かやってたのですか？」とか「この病院始まって以来、5本の指に入る程の回復ですよ」と。院内の通路で、私の手術に関わって下さった先生方に出会うごとに、みなさんが「すごい回復なんだってね」と声をかけてくれました。入院中、同室の方は5人程いましたが、みなさん私よりも先に手術されているにもかかわらず、その方々よりも1週間も早く退院できたのは驚異としか言いようがありません。術後4か月程経ちましたが、検査結果は良好で順調に回復しているようです。傷の方もかなり平らになり、見た目もきれいになってきました。思いやりのない医療に憤りを感じいらっしゃる方、是非、サナモア光線治療院を訪れてください。こんなに人にやさしい医療があったんだと思うはずです。一人でも多くのサナモアファンが増えることを願って止みません。

を受ける必要が生じた場合、少しでも体力を増強し、手術に備えようとしてしまう。栄養のバランスやカロリーを考え、食事を摂取し、なるべくストレスを避け、規則的な生活を中心とするといったことは、だれで

もがやることと思いますが、それに、サナモア光線療法を加えることをお勧めします。もちろん、手術後の回復は、病気の種類や重症度、手術の術式などにより差が出るのは当然ですが、手術を受けるまでの間、多くの

検査を受け、悶々とした日々を過ごし、食欲も減退し、ふさぎこんだ状態で過ごして、健康状態を良好に保てるわけがありません。術後の縫合不全は、栄養状態が不良で、免疫力の低下した患者において、圧倒的に多く見られます。術前には、少しでも自身の治癒力を高める努力をすべきなのに、病院では、検査、検査で、本人の治癒力を高めることが忘れ去られています。ですから、もし、医師から手術を宣告されたなら、是非とも、術前から光線療法を行うことを勧めるのです。その効果は、術後の回復過程において、きっと表れるはずです。

手術そのものは、医師が行うので、自分ではどうしようもありません。ただ、じつとその時を待つではなく、光線療法で少しでも治癒力を高める必要があるのです。そのことを、ご理解頂くために、今回、ご自身の貴重な体験を掲載することを快諾し、寄稿して下さいました高田様（横浜市在住）の体験談を掲載させて頂きます。

六

田様（横浜市在住）の体験談を
掲載させて頂きます。

どんな人にも使えます

サナモアの適応症と効果的な照射法

病気の治療法には二通りの方法があります。病院の治療は、殆どの場合、病名診断に基づく治療で特異的治療法と呼ばれます。病院の治療は、個体に具わった自然治癒力を高める治療で非特異的治療法と呼ばれる範疇に属します。サナモアの理念は、生命を育んだ太陽の恵みを応用することで、生命力の根幹をなす生体の平衡状態で、生体恒常性(ホメオスタシス)を調節し、健康体にすることです。したがって、虚弱体質の改善から病気の治療まで広範囲に応用できます。自分が悪くて悩んでいる人から、病名は付けても治らずに苦しんでいる慢性病の患者まで、どんな人でも使って効果のある、ど

うな治療法には二通りの方法があります。病院の治療は、殆どの場合、病名診断に基づく治療で特異的治療法と呼ばれます。病院の治療は、個体に具わった自然治癒力を高める治療で非特異的治療法と呼ばれる範疇に属します。サナモアの理念は、生命を育んだ太陽の恵みを応用することで、生体の平衡状態で、生体恒常性(ホメオスタシス)を調節し、健康体にすることです。したがって、虚弱体質の改善から病気の治療まで広範

副作用の心配のない治療法です。

「かけ過ぎ」は心配ありません

サナモアの愛用者から、「光線療法」に書いてある照射時間を超えて光線をかけたいが、と問い合わせを受けることがあります。なまじ本に照射時間が書いてあるため、かけ過ぎは害になるのかと余計な心配をお掛けしたのですが、本の時間は最短時間で、時間に余裕があるなら本の時間の2~3倍はかけた方が効果も早く出ることがしばしばあります。

実際、サナモア光線治療院で

は、密閉された空間内で四台から五台の光線治療器を用いて45分前後照射するルーフ式マルチ

アーチ療法を行っていますが、この際の照射時間を45分として単純計算すれば、四台で180分、すなわち3時間です。これでも

「かけ過ぎ」ではありませんが、照射時間が長いだけ水分を失いますので水分の補給は大切です。他に疲労感、肌が赤くなつて風呂でしみることがある位で、光線皮膚炎を起こすことはめったにありませんが、起こしても使い続けて皮膚が慣光性を獲得すれば簡単に治ります。

自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

はづらつさんには ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤

を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面

を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面

を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面

を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面

を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面

(本紙の無断転用を禁止します。)

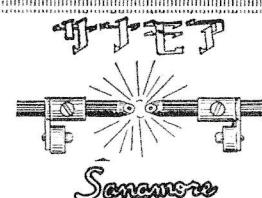
〒100-0033 東京都目黒区目黒4-6-18
「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。
発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号

トカーボン以外のカーボンは未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは未然に防ぐため、ジョイント

医学博士 宇都宮 光明

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙「健康と光線」の発行。
二、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サナモア光線協会



サナモア光線協会

趣意書